

公益社団法人 環境科学会 2016 年会

プ ロ グ ラ ム

公 益 社 団 法 人
環 境 科 学 会

公益社団法人 環境科学会 2016 年会

日 程： 2016 年 9 月 8 日（木）～ 9 日（金）

場 所： 東京都市大学 横浜キャンパス
〒 224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1
<http://www.yc.tcu.ac.jp/access/>

交 通： 渋谷・横浜から各 25 分，新横浜から 15 分
横浜市営地下鉄「中川駅（東京都市大学横浜キャンパス前）」より徒歩 5 分
※詳細はアクセス案内をご参照ください。

年会への参加登録：

- ・本年会に参加されるすべての方は「**参加登録**」が必要です。発表申込をされた方も参加登録を忘れずに行ってください。
- ・参加登録は 2 つの方法から選択いただけますが，当日受付で現金でお支払いいただくよりも少しお安くなっている「**事前 WEB 登録／振込払い**」がありますのでご利用ください。
- ・参加登録のお申し込みは，8 月 17 日（水）17：00 まで，下記 URL にて受け付けています。

参加登録 WEB システム：<http://www.pasreg.jp/reg/top/ses/participation>

年会案内 WEB サイト：<http://www.ses.or.jp/conference/2016conf/>

- ・事前 WEB 登録／振込払いは，「参加登録 WEB システム」にて参加登録を行った後に送付される自動返信メールに記載されているとおり，該当金額を下記口座へ指定期間内（8 月 17 日まで）にお振り込みください。

- ・その際には，

①振込取扱票の「通信欄」に「住所」「氏名」「参加申込番号（A で始まる 6 桁の数字）」をご記入ください。

②参加申込の際に自動返信されますメールが「参加票」になりますので，印刷して当日，受付にお持ちください。

③振込手数料は貴殿にてご負担ください。

※ 年会参加 事前振込口座 ※

郵便振替口座

口座記号番号 00190-0-791543

加入者名 公益社団法人 環境科学会

登録・支払方法	費目	正会員	準会員	非会員	非会員（学生）
事前登録／振込払い	年会参加費	6,000 円	3,000 円	9,000 円	5,000 円
	交流会費	5,000 円	3,000 円	5,000 円	3,000 円
当日登録／現金払い	年会参加費	8,000 円	4,000 円	11,000 円	6,000 円
	交流会費	6,000 円	4,000 円	6,000 円	4,000 円

※事前登録／振込払いとは：

8 月 17 日（水）17：00 までに【参加登録】と併せて【振込をすませた方】に限ります。

※事前登録をいただいても期日までにお振り込みがない場合は，「当日登録／現金払い」扱いになりますので，ご注意ください。当日現金のご納入をお願い致します。なお，お納めいただいた参加費等は，ご返金できませんのでご注意ください。

表彰式：

日 時：2016 年 9 月 8 日（木）16：45～17：45
場 所：東京都市大学 横浜キャンパス 3 号館 2 階 32A（A 会場）
受賞者：学会賞（1 名），学術賞（2 名），奨励賞（2 名），論文賞（3 編）
※詳細は会誌 5 月号（Vol.29, No.3）をご参照ください。

特別講演会：

日 時：2016 年 9 月 8 日（木）16：45～17：45（表彰式終了後）
場 所：東京都市大学 横浜キャンパス 3 号館 2 階 32A（A 会場）
講 師：細田衛士（慶應義塾大学経済学部・教授）
演 題：拡大生産者責任に基づいた静脈ビジネスのフォーマル化
－事例研究と理論－

交流会：

日 時：2016 年 9 月 8 日（木）18：00～20：00
場 所：東京都市大学 横浜キャンパス 4 号館（食堂棟）1 階
会 費：上記をご参照ください。
※若手育成事業における優秀発表賞，優秀研究企画賞の表彰式を合わせて行います。

【 実行委員会より重要なお知らせ 】

※本年会では，講演で使用されるパソコンは各講演者に持参していただくことに致しました。

講演会場では，セッション開始前に接続して動作確認をお願い致します。

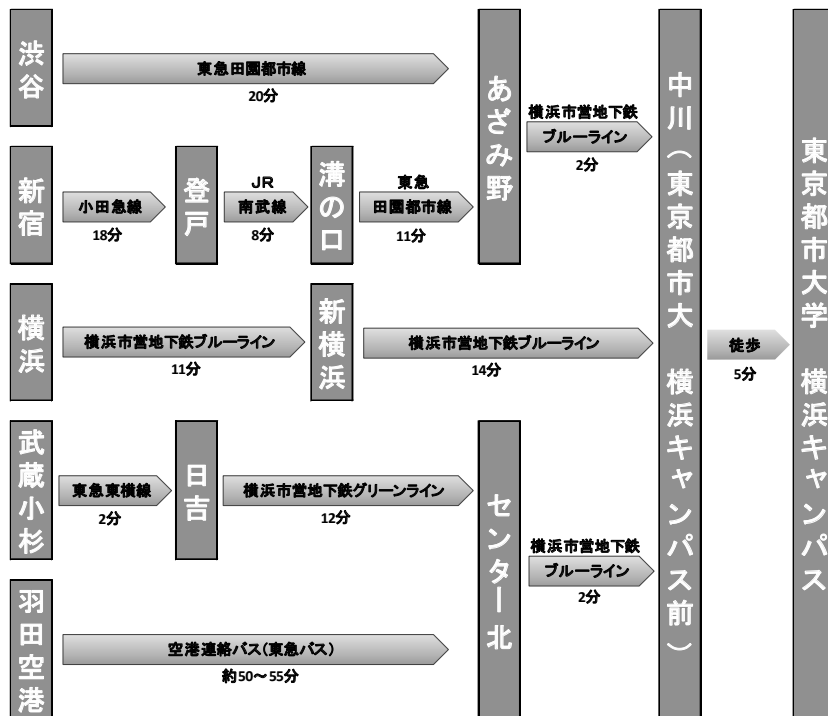
なおプロジェクトとは RGB ケーブル（別名：ミニ D-Sub15 ピンコネクタ，VGA 端子）で接続致しますので，それ以外の接続が必要な場合には，各自で変換コネクタなどの準備をお願い致します。

※駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。

※問合わせ先※

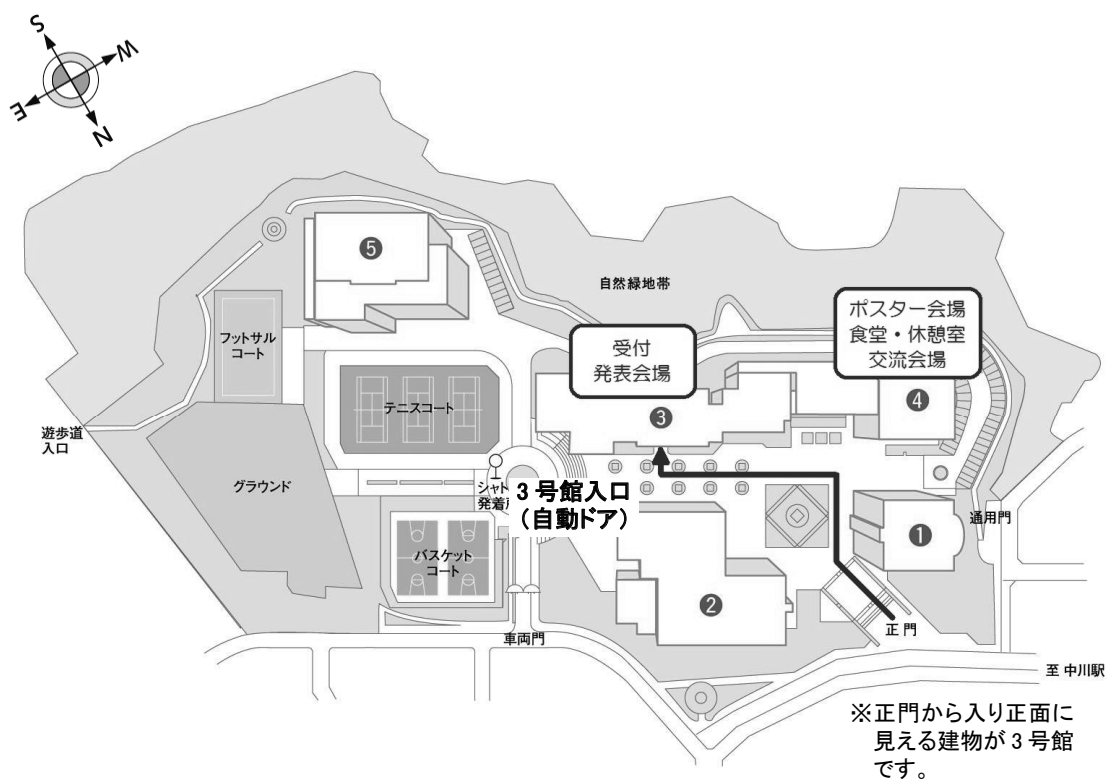
- 1) 研究発表・参加登録・プログラム・講演要旨集の購入・会場・その他に関するお問い合わせ
公益社団法人 環境科学会 年会委員会（E-mail：nenkai2016@ses.or.jp）
- 2) 入会手続きに関するお問い合わせ
公益社団法人 環境科学会 会員管理担当室
TEL：03-5389-6291 / FAX：03-3368-2822
E-mail：sesj-office@bunken.co.jp

東京都市大学 横浜キャンパスへのアクセス案内



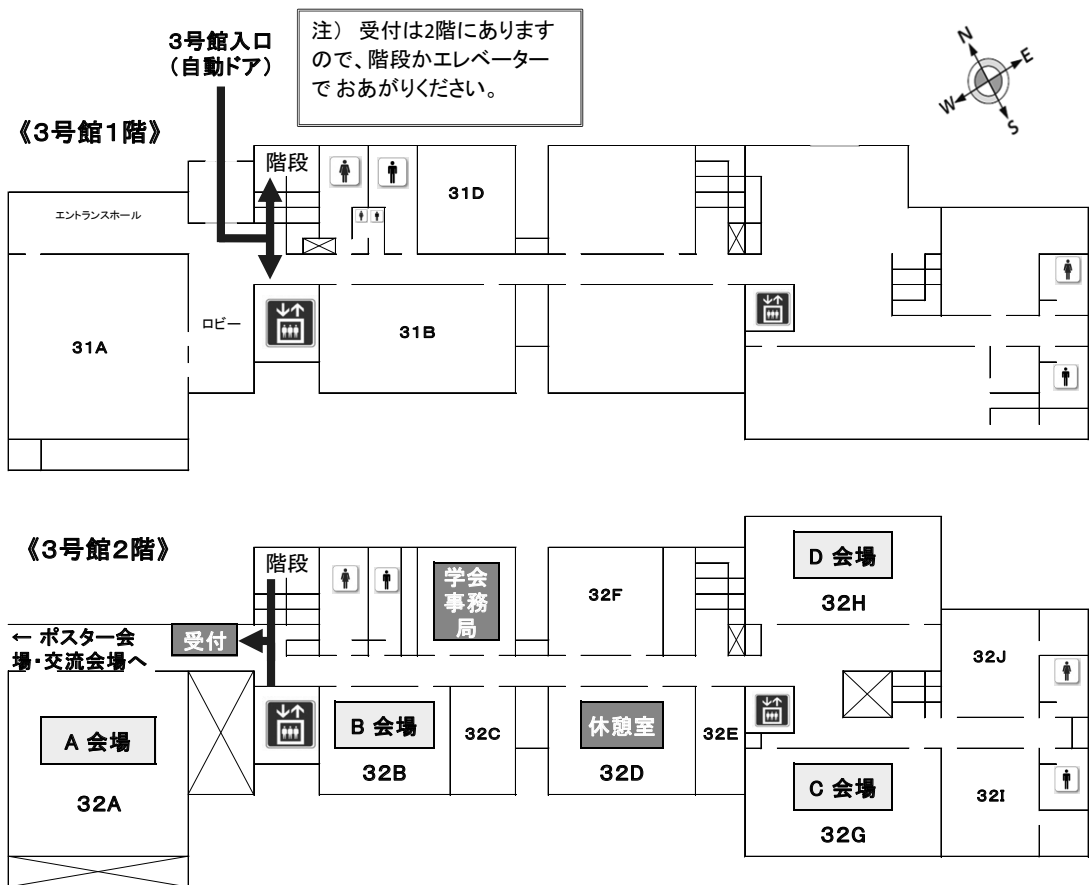
※改札出口1を出てすぐに階段を上ってお進みください。
 ※商店街、住宅街を抜け、大学正門まで徒歩で約5分です。

東京都市大学 横浜キャンパスの案内



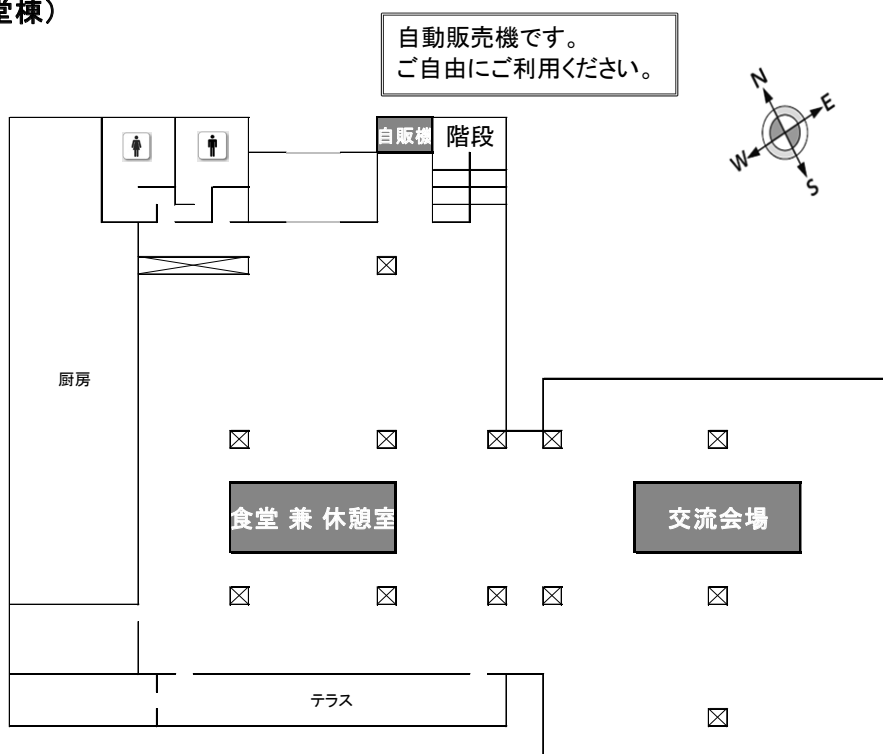
- ③ 3号館（受付、発表会場A、B、C、D、休憩室）
- ④ 4号館（ポスター会場、交流会会場、休憩室、食堂）

会場案内

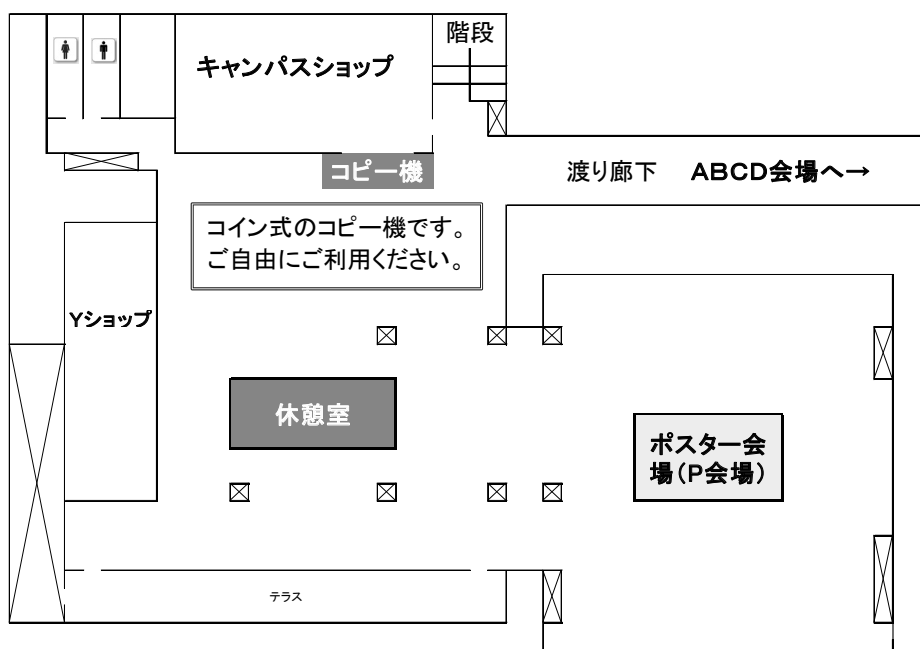


■4号館(食堂棟)

《4号館1階》



《4号館2階》



発表者の方々へ

1. 受 付

口頭発表、ポスター発表ならびにシンポジウム、いずれへの参加も、必ず**3号館2階**の受付にて手続きを行ってください。

2. 発表時間

口頭発表：15分（発表10分、質疑応答及びパソコンの入れ替え5分）

ポスター発表：9月8日（木）11：00までにポスターを所定の場所に掲示してください。

ポスター発表・討論の時間帯は、9月8日（木）12：00～14：00です。

このうち、**発表・討論のコアタイム**は**9月8日（木）12：30～13：30**です。

この時間帯には、発表者は必ずポスター前にて発表を行ってください。

同時帯に『年会優秀発表賞の審査』（投票〆切14：00）が行われます。

上記以外の時間帯は自由に閲覧できます。

シンポジウム：オーガナイザーにお問い合わせください。

3. 発表方法

口頭発表・シンポジウム

・各発表会場では、**プロジェクトを用意致しますが、パソコンは用意致しませんので、各自でご用意ください。**

- ・セッション開始前に動作確認をお願い致します。時間に余裕をもって進行にご協力ください。
- ・RGB ケーブル（ミニ D-Sub15 ピンコネクタ，VGA 端子）で接続致しますので、それ以外の接続が必要な場合は、各自でコネクタなどの準備をお願い致します。
- ・OHP は用意いたしません。
- ・発表時のパソコン操作は各自で行ってください。

ポスター発表

- ・掲示は受付後に9：00から行うことができます。
- ・掲示に必要な押しピン，マグネット，テープ類は学会事務局で用意致します。
- ・ポスターパネルの掲示面積は**横820mm×縦1410mm（内寸）**です。A0サイズ（横841mm×縦1189mm）は外枠に若干かかる範囲で貼ることは可能です。
- ・机や電源など掲示板以外の設備の使用をご希望される場合には、**事前に年会委員会**までメールにてお問い合わせください。当該設備をご持参いただく場合やご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。
- ・ポスターの撤去は、9月9日（金）15：00までに各自でお願い致します。（15：00を過ぎても撤去されていないポスターは、年会実行委員会が撤去、廃棄しますので、ご了承ください）

プ ロ グ ラ ム

会場名		A会場	B会場	C会場	D会場	P会場
号館・階		3号館2階	3号館2階	3号館2階	3号館2階	4号館2階
9月8日 (木)	9:00	9:00 受付開始				ポスター発表 (閲覧のみ) ※11:00までに掲示 してください。
	9:15					
	9:30	シンポジウム-1 ポストFIT時代の再生可能 エネルギーを活かす地域づくり ～政策科学の貢献	シンポジウム-2 地域の資本ストックの 将来を展望する ー2040年の未来シミュレーター 結果からー	口頭発表1C-1 環境と合意形成 9:30～10:30 森口祐一	口頭発表1D-1 一次産業 9:45～10:30 橋隆一	
	9:45					
	10:00					
	10:15					
	10:30					
	10:45					
	11:00	白井信雄 杉山範子 9:30～12:00	倉阪秀史 松橋啓介 9:30～12:00	口頭発表1C-2 環境教育 10:45～11:45 栗栖聖	口頭発表1D-2 環境汚染 10:45～12:00 三宅祐一	
	11:15					
	11:30					
	11:45					
	12:00					
	12:15					
	12:30					
	12:45	昼休み 12:00～14:00				
	13:00					
	13:15					
	13:30					
	13:45					
	14:00	シンポジウム-3 地方自治体における 気候変動適応技術の 社会実装化の促進・阻害要因	シンポジウム-4 地域主導による 環境配慮型まちづくりに関する 研究と実践	口頭発表1C-3 持続可能性 14:00～15:15 島崎洋一	口頭発表1D-3 環境技術 14:00～15:15 高梨啓和	
	14:15					
	14:30					
14:45						
15:00						
15:15						
15:30						
15:45						
16:00	馬場健司 青木えり 14:00～16:30	大西暁生 森田鑑圭 14:00～16:15	口頭発表1C-4 循環型社会 15:30～16:30 佐伯孝	口頭発表1D-4 環境政策 15:30～16:30 有村俊秀		
16:15						
16:30						
16:45						
17:00	表彰式／特別講演会 16:45～17:45					
17:15						
17:30						
17:45						
18:00	交流会(若手育成事業表彰式を含む) 18:00～20:00 4号館(食堂棟)1階					

会場名		A会場	B会場	C会場	D会場	P会場
号館・階		3号館2階	3号館2階	3号館2階	3号館2階	4号館2階
9月9日 (金)	9:00	9:00 受付開始				ポスター発表 (閲覧のみ)
	9:15					
	9:30	シンポジウム-5 ローカルレベルにおける 水・エネルギー・食料 넥サスの マネジメント: 大分県別府湾 におけるケーススタディ	シンポジウム-6 室内環境中の 難燃剤に対する リスク評価とその課題	口頭発表2C-1 環境リスクと社会 9:30～10:30 亀屋隆志	口頭発表2D-1 エネルギーの低炭素化 9:30～10:30 田崎智宏	
	9:45					
	10:00					
	10:15					
	10:30					
	10:45			口頭発表2C-2 環境質の評価 10:45～11:45 村上道夫	口頭発表2D-2 生活とエネルギー 10:45～11:45 平野勇二郎	
	11:00	増原直樹	雨谷敬史			
	11:15	馬場健司	三宅祐一			
	11:30	9:30～12:00	9:30～12:00			
	11:45					
	12:00	昼休み 12:00～13:30				
	12:15					
	12:30					
	12:45					
	13:00					
	13:15					
	13:30	シンポジウム-7 〔優秀研究企画受賞記念 シンポジウム〕モンゴル国の 都市化とモータリゼーション による都市廃棄物問題の顕在化	シンポジウム-8 〔学術賞受賞記念シンポジウム〕 都市における熱環境の 解析と改善策	口頭発表2C-3 〔企画セッション〕化学物質管理 のための新たな研究の取り組み 13:30～14:45 小林憲弘	口頭発表2D-3 電力のスマート化 13:30～14:45 中谷隼	
	13:45					
	14:00					
	14:15					
	14:30					
	14:45	戸敷浩介	一ノ瀬俊明			
	15:00	内藤博敬	平野勇二郎	口頭発表2C-4 環境モニタリング 15:00～16:00 坂田昌弘	口頭発表2D-4 再生可能エネルギー 15:00～16:00 後藤尚弘	
	15:15	13:30～15:30	吉田友紀子 13:30～15:45			
	15:30					
	15:45					
	16:00					
			後片付け			

※ シンポジウムの枠内の氏名はオーガナイザー、口頭発表セッションの枠内の氏名は座長です。

口 頭 発 表

【1 日目（9 月 8 日）午前】

C 会場（3 号館 2 階）口頭発表 1C-1 環境と合意形成（9：30～10：30）

座 長： 森口祐一（東京大学）

- 1C-0930 **優秀研究企画賞受賞記念講演**：風力発電施設による社会影響に関する研究—シャドーフリッカーの発生状況とその要因—
○錦澤滋雄，半田哲也，村山武彦（東京工業大学）
- 1C-0945 **論文賞受賞記念講演**：住民の森林環境税制度受容に係る意思決定プロセスの分析
○村上一真（滋賀県立大学）
- 1C-1000 仮想将来世代の創出によるフューチャーデザインと合意形成—岩手県矢巾町での実践から
○原圭史郎（大阪大学），西條辰義（高知工科大学），吉岡律司，栗本修滋（岩手県矢巾町），黒田真史（大阪大学）
- 1C-1015 環境ボランティア獲得における SNS 利用に関する調査
○前田恭伸（静岡大学），浅野敏久（広島大学），市川怜（静岡大学），犬塚裕雅（専修大学），根本和宜，森保文（国立環境研究所）

D 会場（3 号館 2 階）口頭発表 1D-1 一次産業（9：45～10：30）

座 長： 橘隆一（東京農業大学）

- 1D-0945 北海道における畑作 4 品目の作柄指標予測
○松村寛一郎（東京農業大学），井上聡（北海道農業研究センター），杉本賢二（名古屋大学）
- 1D-1000 農業・酪農・漁業へのドローンの適用可能性に関する検討
○松村寛一郎（東京農業大学），井上聡（北海道農業研究センター）
- 1D-1015 メッシュデータを活用した耕作放棄地の統計分析
○島崎洋一（山梨大学）

C 会場（3 号館 2 階）口頭発表 1C-2 環境教育（10：45～11：45）

座 長： 栗栖聖（東京大学）

- 1C-1045 環境に関する社会コミュニケーションの実践—「環境カフェ」を例に
○多田満（国立環境研究所），戸祭森彦（筑波大学）
- 1C-1100 中学生の環境に関する知識・意識と配慮行動の関係性
○岩川貴志（循環共生社会システム研究所），来田博美（滋賀県地球温暖化防止活動推進センター），内藤正明（琵琶湖環境科学研究センター）
- 1C-1115 リスク概念理解のための参加型教育プログラムの開発と学修効果
○金澤伸浩（秋田県立大学）
- 1C-1130 インドネシアにおける PBL（problem-based learning）型環境教育手法の試行と効果測定
○インドリヤニ ラフマン，杉丸千佳，松本亨（北九州市立大学）

D 会場（3 号館 2 階）口頭発表 1D-2 環境汚染（10：45～12：00）

座 長： 三宅祐一（静岡県立大学）

- 1D-1045 **論文賞受賞記念講演**：中海柱状堆積物に記録された重金属汚染の歴史トレンド解析
○楠賢司（静岡大学），坂田昌弘（静岡県立大学）
- 1D-1100 宍道湖と中海における堆積物表層の重金属濃度の増加に対するアジア大陸からの越境輸送の寄与
○坂田昌弘（静岡県立大学），楠賢司（静岡大学）

- 1D-1115 有害化学物質の大気排出後の沈着による土壌汚染の可能性
○小林剛, グエンティーン ランビン (横浜国立大学), 高橋ゆかり (富山国際大学), 姫旭, 田小維 (横浜国立大学)
- 1D-1130 河川水中における PPCPs の LC/MS/MS を用いた一斉分析による検出
○八色真, 朱之璽, 三保紗織, 亀屋隆志 (横浜国立大学)
- 1D-1145 PRTR 対象物質及び PPCPs の分解処理における消失
○朱之璽, 八色真, 三保紗織, 石川浩輔, 亀屋隆志 (横浜国立大学)

【1日目(9月8日)午後】

C会場(3号館2階) 口頭発表 1C-3 持続可能性 (14:00～15:15)

座長: 島崎洋一 (山梨大学)

- 1C-1400 住宅地図を用いた地方都市における災害廃棄物発生空間分布の可視化
○田畑智博, 蔡佩宜 (神戸大学)
- 1C-1415 相関概念によるデカップリング状態の分類
○高井亨 (鳥取環境大学)
- 1C-1430 環境に配慮したライフサイクル設計のための容器包装と内容物の分析
○横川直毅, 平尾雅彦 (東京大学)
- 1C-1445 25の取組・認証制度における持続可能性の基準
○田崎智宏, 亀山康子 (国立環境研究所), 大島正子, 本木啓生 ((株) イースクエア)
- 1C-1500 オントロジー工学に基づくライフスタイル構造を記述する語彙の標準化に関する考察
○岸上祐子, 古川柳蔵, 須藤祐子 (東北大学), 溝口理一郎 (北陸先端科学技術大学院大学)

D会場(3号館2階) 口頭発表 1D-3 環境技術 (14:00～15:15)

座長: 高梨啓和 (鹿児島大学)

- 1D-1400 論文賞受賞記念講演: 炭素繊維および炭素繊維強化樹脂への水熱反応の適用
○佐伯孝 (富山県立大学), 藤江幸一 (横浜国立大学), 大門裕之 (豊橋技術科学大学)
- 1D-1415 中和電解水が金属の腐食に与える影響
○甲斐穂高, 橋本佳歩 (鈴鹿工業高等専門学校), 中道隆広 (長崎総合科学大学), 石橋康弘 (熊本県立大学)
- 1D-1430 可溶化菌による糖可溶化能力の比較と解析
○鈴木真梨奈, 甲斐穂高 (鈴鹿工業高等専門学校), 中道隆広 (長崎総合科学大学), 石橋康弘 (熊本県立大学)
- 1D-1445 低回転ボルテックス水車の効率改善と動作解析
○上坂博亨 (富山国際大学), 中川慎二, 清水貴昭 (富山県立大学), 伊藤宗康, 佐藤弘規 (川端鐵工 (株))
- 1D-1500 土壌の熱伝導率の伝導成分のモデル化
○坂口巖 (鳥取大学), 望月秀俊 (農研機構), 藤巻晴行 (鳥取大学)

C会場(3号館2階) 口頭発表 1C-4 循環型社会 (15:30～16:30)

座長: 佐伯孝 (富山県立大学)

- 1C-1530 社会貢献型古着リユース活動に対する価値認識: ボランティアへのインタビューから
○小島英子, 田崎智宏 (国立環境研究所)
- 1C-1545 循環型パームプランテーションに向けた物質収支解析と加工残渣土壌還元効果の評価
○村上遼, 藤江幸一, 金子信博 (横浜国立大学), 後藤尚弘 (豊橋技術科学大学), Udin Hasanudin (University of Lampung)
- 1C-1600 高温可溶化システムによる鶏糞のメタン発酵利用
○中村勝 (熊本県立大学), 中道隆広, 吉本圭佑 (長崎総合科学大学), 吉赫哲 (日本プライスマネジメント (株)), 石橋康弘 (熊本県立大学)

1C-1615 住宅における蓄積物質使用効率の日諾比較

○八柳有紗（立命館大学），Havard Bergsdal（Asplan Viak），Daniel B. Mueller（Norwegian University of Science and Technology），谷川寛樹（名古屋大学），橋本征二（立命館大学）

D会場（3号館2階）口頭発表 1D-4 環境政策（15：30～16：30）

座 長： 有村俊秀（早稲田大学）

1D-1530 中国自動車産業と拡大生産者責任に関する研究

○栗洋（名古屋大学）

1D-1545 南極海の生物資源管理をめぐる国際交渉：脆弱性反応枠組みを用いた事例分析

○大久保彩子（東海大学）

1D-1600 テキストマイニングによる地域温暖化対策地域協議会の実態調査

○島崎洋一（山梨大学），早川大規（山梨県）

1D-1615 日本版環境保全オフセットの制度設計に関する研究

○久保田泉（国立環境研究所）

【2日目（9月9日）午前】

C会場（3号館2階）口頭発表 2C-1 環境リスクと社会（9：30～10：30）

座 長： 亀屋隆志（横浜国立大学）

2C-0930 奨励賞受賞記念講演：微量有機化学物質によるヒト健康リスクの定量化に関する研究

○小林憲弘（国立医薬品食品衛生研究所）

2C-0945 奨励賞受賞記念講演：主観的幸福度を用いたリスク分析手法の開発

○村上道夫（福島県立医科大学）

2C-1000 原子力施設周辺地域における広域避難計画にみる特徴と課題

○飯塚史乃，村山武彦（東京工業大学）

2C-1015 化学物質漏洩に伴う急性健康被害範囲の推定と避難可能性の検討

○吉田喜久雄，吉田愛（産業技術総合研究所）

D会場（3号館2階）口頭発表 2D-1 エネルギーの低炭素化（9：30～10：30）

座 長： 田崎智宏（国立環境研究所）

2D-0930 動的最適潮流計算を用いた二酸化炭素排出削減

○皆川翔太郎，長坂研（東京農工大学）

2D-0945 石炭火力発電の熱効率とCO₂価格の違いが電力排出係数に与える影響

○上野捷（東京工業大学），増井利彦，金森有子（国立環境研究所），棟居洋介（東京工業大学）

2D-1000 地域における普及啓発活動による二酸化炭素排出削減効果の推定

○内藤秀治（横浜国立大学），松本安生（神奈川大学），松本真哉（横浜国立大学），川原博満，木場和義（地球温暖化防止全国ネット）

2D-1015 Role of non-CO₂ GHGs in emission scenarios for achieving global mitigation targets

○Diego Silva Herran，Kaoru Tachiiri（海洋研究開発機構）

C会場（3号館2階）口頭発表 2C-2 環境質の評価（10：45～11：45）

座 長： 村上道夫（福島県立医科大学）

2C-1045 衝突断面積に基づいた未知物質の構造推定

○高梨啓和，橋本扶美，中島常憲，大木章，上田岳彦，門川淳一（鹿児島大学），石川英律，宮本信一（いであ（株））

2C-1100 金属に暴露されたメダカの酸化ストレスに関する研究

○佐野智基，山口雅裕（鈴鹿工業高等専門学校），石橋康弘（熊本県立大学），甲斐穂高（鈴鹿工業高等専門学校）

- 2C-1115 緑藻類 *Pseudokirchneriella subcapitata* の遅延発光による重金属類の毒性評価
○大曲遼（熊本県立大学），勝又政和（浜松ホトニクス（株）），中道隆広（長崎総合科学大学），
甲斐穂高（鈴鹿工業高等専門学校），有菌幸司，石橋康弘（熊本県立大学）
- 2C-1130 原生動物ハリタイヨウチュウを用いた高感度・高速な水質バイオモニタリングシステムの開発
○吉村知里，洲崎敏伸（神戸大学）

D会場（3号館2階）口頭発表 2D-2 生活とエネルギー（10：45～11：45）

座長：平野勇二郎（国立環境研究所）

- 2D-1045 地熱発電をベース電源としたスマートコミュニティでの熱利用の発展
○来田雅俊，長坂研（東京農工大学）
- 2D-1100 住宅におけるパッシブ地中熱の省エネルギー性能についての分析
○諏訪亜紀，橋本瑠美（京都女子大学），藤原和正（イワモトエンジニアリング（株）），渡辺浩平（帝京大学）
- 2D-1115 家庭生活における消費行動と家電製品の使用パターン
○文多美，平尾雅彦（東京大学），谷川寛樹（名古屋大学），中西仁美，Liana Williams, Sonia Graham, Heinz Schandl, Tira Foran（SCIRO）
- 2D-1130 電力消費構造の分解に着目した大学における電力消費パターンの実態把握
○平井雄之，阿部直也（東京工業大学）

[2日目（9月9日）午後]

C会場（3号館2階）口頭発表 2C-3 [化学物質管理戦略研究会 企画セッション] 化学物質管理のための新たな研究の取り組み（13：30～14：45）

座長：小林憲弘（国立医薬品食品衛生研究所）

- 2C-1330 ネオニコチノイド系農薬およびその環境変化体の河川水中濃度測定
○橋本扶美，北ノ園龍介，有島由紀子，高梨啓和，中島常憲，大木章，上田岳彦，門川淳一（鹿児島大学），石川英律，宮本信一（いであ（株））
- 2C-1345 GC/MS 一斉分析を用いた河川水中での PRTR 対象物質の検出状況～黒本調査との比較～
○三保紗織，大橋拓未，飯東敏泰，亀屋隆志（横浜国立大学）
- 2C-1400 室内環境での多様な曝露経路における製品含有化学物質のリスクスクリーニング
○富澤茉佑香，高橋裕美子，小林剛（横浜国立大学）
- 2C-1415 難燃カーテンに含まれるヘキサブプロモシクロデカン代替物質の調査
○王斉，三宅祐一，雨谷敬史（静岡県立大学）
- 2C-1430 住環境の健康リスク評価のための DNA 解析技術の適用検討
○河原彩香，金澤伸浩，佐藤幹菜，長谷川兼一，藤晋一，福島淳，岡野桂樹（秋田県立大学）

D会場（3号館2階）口頭発表 2D-3 電力のスマート化（13：30～14：45）

座長：中谷隼（東京大学）

- 2D-1330 電力自由化でのデマンドレスポンスの有用性
○中村翔悟，長坂研（東京農工大学）
- 2D-1345 ニューラルネットワークを用いた東京工業大学の電力使用量予測
○吉川真史（東京大学），増井利彦，金森有子（国立環境研究所），棟居洋介（東京工業大学）
- 2D-1400 予測機能を備えたスマートメーターの設計開発
○岩倉弘季，長坂研（東京農工大学）
- 2D-1415 多様な生活スケジュールを考慮したマイクログリッドによる CO2 削減効果の評価
○佐藤惇，栗栖聖，花木啓祐（東京大学）
- 2D-1430 容量市場を含む電力取引モデルの構築
○近藤容平，長坂研（東京農工大学）

C会場（3号館2階） 口頭発表 2C-4 環境モニタリング（15：00～16：00）

座 長： 坂田昌弘（静岡県立大学）

- 2C-1500 DNPH を用いたグリオキサールの分析法に関する研究
○阮允豪，王齊，三宅祐一，雨谷敬史（静岡県立大学）
- 2C-1515 大気中及び降雨中における未規制物質の検出
○亀屋隆志，川田久美子，飯東敏泰（横浜国立大学）
- 2C-1530 大気中の半・難揮発性物質の捕集時における共存オゾンの影響
○石原怜，三保紗織，亀屋隆志，飯東敏泰（横浜国立大学）
- 2C-1545 市販の捕集剤による作業環境測定物質の回収率に関する研究
○王志偉，王齊，三宅祐一，雨谷敬史（静岡県立大学），福島靖弘，鈴木義浩，榎本孝紀（柴田科学（株））

D会場（3号館2階） 口頭発表 2D-4 再生可能エネルギー（15：00～16：00）

座 長： 後藤尚弘（豊橋技術科学大学）

- 2D-1500 再生可能エネルギー導入の地域間産業連関分析
○鷺津明由（早稲田大学），中野諭（労働政策研究・研修機構），新井園枝（経済産業研究所）
- 2D-1515 洋上風力発電と海流発電の一体化による発電コストの削減の検討
○鈴木雄哉，長坂研（東京農工大学）
- 2D-1530 東京 23 区における下水熱の利用可能性評価
○鶴見真子（東京工業大学），森俊介（東京理科大学），増井利彦（東京工業大学）
- 2D-1545 再生可能エネルギー大量導入時の電力系統の広域運用シミュレーション
○貝野瀬翔，長坂研（東京農工大学）

ポスター発表（優秀発表賞応募発表を含む）

掲示可能期間：9月8日（木）9：00～9日（金）15：00（15：00までに各自にて撤去願います）

※8日（木）11：00までに、ポスターを所定の場所に掲示してください。

※9日（金）15：00を過ぎても撤去されていないポスターは、年会実行委員会が撤去・廃棄しますので、ご了承ください。

発表・討論時間：9月8日（木）12：00～14：00（うち、12：30～13：30は「コアタイム」とします）

※掲示期間中、ポスターは自由に閲覧することができますが、8日（木）昼の時間帯を発表・討論時間として設定しています。「コアタイム」には、発表者は必ずポスター前にて発表を行ってください。

- P-01 地域特性と社会経済の状況に応じた建設資材投入原単位
○鈴垣優，松井健吾，奥岡桂次郎，谷川寛樹（名古屋大学）
- P-02 グループ農業登録を目的とした残留農薬特性を考慮した作物分類～SOMを用いて～
○眞鍋優作（大阪大学）
- P-03 東日本大震災の災害廃棄物処理における自治体・地域コミュニティの役割について
○大西暁生，石丸加奈子（東京都市大学），田畑智博（神戸大学），佐伯孝（富山県立大学），佐尾博志（名城大学）
- P-04 将来の社会変化が河川流域内の土地利用に与える影響－多摩川，鶴見川の流域を対象として
○齋藤あかり（東京都市大学），佐藤嘉展（愛媛大学），大西暁生（東京都市大学）
- P-05 ハウスダストを介した臭素・リン系難燃剤の曝露のリスク評価
○徳村雅弘，三宅祐一（静岡県立大学），王齊，甲斐葉子，雨谷敬史（静岡県立大学）
- P-06 GC/MS一斉分析を用いた河川水中でのPRTR対象物質の検出状況～黒本調査との比較～
○三保紗織，大橋拓未，飯東敏泰，亀屋隆志（横浜国立大学）
- P-07 市販の捕集剤による作業環境測定物質の回収率に関する研究
○王志偉，王齊，三宅祐一，雨谷敬史（静岡県立大学），福島靖弘，鈴木義浩，榎本孝紀（柴田科学（株））
- P-08 緑藻類 *Pseudokirchneriella subcapitata* の遅延発光による重金属類の毒性評価
○大曲遼（熊本県立大学），勝又政和（浜松ホトニクス（株）），中道隆広（長崎総合科学大学），甲斐穂高（鈴鹿工業高等専門学校），有蘭幸司，石橋康弘（熊本県立大学）
- P-09 難燃カーテンに含まれるヘキサブロモシクロデカン代替物質の調査
○王齊，三宅祐一，雨谷敬史（静岡県立大学）
- P-10 電力消費構造の分解に着目した大学における電力消費パターンの実態把握
○平井雄之，阿部直也（東京工業大学）
- P-11 用途地域における利用容積率の実態と物質蓄積ポテンシャルの把握
○杉本賢二，奥岡桂次郎（名古屋大学），秋山祐樹（東京大学），谷川寛樹（名古屋大学）
- P-12 Economic analysis of climate change on thermal power generation
○Qian Zhou，Naota Hanasaki，Shinichiro Fujimori，Yasuaki Hijioka（国立環境研究所）
- P-13 環太平洋パートナーシップ協定が農地における養分収支に及ぼす影響分析
○赤堀弘和，澤内大輔，山本康貴（北海道大学）

- P-14 インドネシアにおける PBL (problem-based learning) 型環境教育手法の試行と効果測定
○インドリヤニ ラフマン, 杉丸千佳, 松本亨 (北九州市立大学)
- P-15 主観的幸福度と自然資本 (環境), 社会資本, ソーシャルキャピタル: ミクロデータを用いた分析
○功刀祐之, 有村俊秀, 森田稔 (早稲田大学)
- P-16 PRTR 対象物質及び PPCPs の分解処理における消失
○朱之璽, 八色真, 三保紗織, 石川浩輔, 亀屋隆志 (横浜国立大学)
- P-17 DNPH を用いたグリオキサールの分析法に関する研究
○阮允豪, 王齊, 三宅祐一, 雨谷敬史 (静岡県立大学)
- P-18 室内環境での多様な曝露経路における製品含有化学物質のリスクスクリーニング
○富澤茉佑香, 高橋裕美子, 小林剛 (横浜国立大学)
- P-19 ネオニコチノイド系農薬およびその環境変化体の河川水中濃度測定
○橋本扶美, 北ノ園龍介, 有島由紀子, 高梨啓和, 中島常憲, 大木章, 上田岳彦, 門川淳一 (鹿児島大学), 石川英律, 宮本信一 (いであ (株))
- P-20 高温可溶化システムによる鶏糞のメタン発酵利用
○中村勝 (熊本県立大学), 中道隆弘, 吉本圭佑 (長崎総合科学大学), 吉赫哲 (日本プライスマネジメント (株)), 石橋康弘 (熊本県立大学)
- P-21 循環型バームプランテーションに向けた物質収支解析と加工残渣土壌還元効果の評価
○村上遼, 藤江幸一, 金子信博 (横浜国立大学), 後藤尚弘 (豊橋技術科学大学), Udin Hasanudin (University of Lampung)
- P-22 愛知県の木材ストック・フローと炭素固定量の定量化に関する研究
○小野聡, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学)
- P-23 木材資源を対象とした物質循環の 6 つの指標の推計
○肖瀚, 橋本征二 (立命館大学)
- P-24 人口推移を考慮した構造物の物質蓄積量と更新に伴う物質フローの比較
○野中一鴻, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学)
- P-25 多様な生活スケジュールを考慮したマイクログリッドによる CO₂ 削減効果の評価
○佐藤惇, 栗栖聖, 花木啓祐 (東京大学)
- P-26 導入実態に基づく薪ストーブ利用の CO₂ 削減量の推計
玉井将大, ○本田雄暉, 松本亨 (北九州市立大学)
- P-27 地球温暖化対策等に係る計画書制度 (計画書制度), 東京都・埼玉県排出権取引制度 (ETS) の有効性分析
○矢島猶雅, 有村俊秀 (早稲田大学)
- P-28 環境に配慮したライフサイクル設計のための容器包装と内容物の分析
○横川直毅, 平尾雅彦 (東京大学)
- P-29 肯定的な感情による動機がごみ分別行動意図に与える影響: マレーシアを事例に
○劉雨晨, 甲斐田直子 (筑波大学)
- P-30 生活満足度を用いた都市緑地の経済評価
○青島一平 (神戸大学), 内田圭 (東京大学), 丑丸敦史, 佐藤真行 (神戸大学)
- P-31 CVM による無電柱化事業の便益評価
○菅原理美, 功刀祐之, 有村俊秀 (早稲田大学)

- P-32 河川水中における PPCPs の LC/MS/MS を用いた一斉分析による検出
○八色真, 朱之璽, 三保紗織, 亀屋隆志 (横浜国立大学)
- P-33 パーソナルケア製品中に含まれるパラベン類のリスク評価
○林知美, 新田しおり, 山口里奈 (東洋大学), 徳村雅弘, 三宅祐一, 雨谷敬史 (静岡県立大学)
- P-34 大気中の半・難揮発性物質の捕集時における共存オゾンの影響
○石原怜, 三保紗織, 亀屋隆志, 飯東敏泰 (横浜国立大学)
- P-35 釧路湿原内湖沼における栄養塩の動態
○岩松典子, 菊地美姫, 曾山広崇, 千田幹太, 古川雄大, 吉田磨 (酪農学園大学)
- P-36 金属に暴露されたメダカの酸化ストレスに関する研究
○佐野智基, 山口雅裕 (鈴鹿工業高等専門学校), 石橋康弘 (熊本県立大学), 甲斐穂高 (鈴鹿工業高等専門学校)
- P-37 福島県における対流性降水分布の抽出と発生要因に関する研究—2012 年 8 月の例—
○佐藤勝哉, 白木洋平 (立正大学)
- P-38 衛星夜間光データを用いたアジア諸都市の空間分布と都市動態の定量化
○西尾文吾, 杉本賢二, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学)
- P-39 シラカバ樹液の抗菌活性評価
○久津間未羽, 笠井涼加, 齋藤絵里香, 望月優香, 桐唯夏, 中澤さくら, 深澤成実, 前田利佳, 大島敦子 (山梨英和中学高等学校)
- P-40 住環境の健康リスク評価のための DNA 解析技術の適用検討
○河原彩香, 金澤伸浩, 佐藤幹菜, 長谷川兼一, 藤晋一, 福島淳, 岡野桂樹 (秋田県立大学)
- P-41 土壌から分離した酵母の校庭緑化への活用に関する研究
○保坂百美, 小宮山遼, 青柳華花, 蘆賀恩, 中村愛, 小口友理, 波羅日菜子, 中込優花, 御園生真美 (山梨英和中学高等学校), 柳場まな, 長沼孝文 (山梨大学)
- P-42 可溶化菌による糖可溶化能力の比較と解析
○鈴木真梨奈, 甲斐穂高 (鈴鹿工業高等専門学校), 中道隆広 (長崎総合科学大学), 石橋康弘 (熊本県立大学)
- P-43 富士山北麓の山林におけるササラダニ類及びトビムシ類の多様性調査Ⅱ
○佐野真帆, 柳下真凜, 手塚佑姫, 新谷柚月, 土屋紅葉, 中川果穂, 水上乃愛, 杉原実乃佳, 手塚紗英, 山本紘治 (山梨英和中学高等学校)
- P-44 生産統計に基づく社会基盤・建築物に投入・蓄積された建設資材量の推計
○藤田恭介, 松井健吾, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学)
- P-45 高齢者の生活様式と容器包装プラスチックごみの分別との関係性に関する考察
○小田実紀, 宮本一毅, 蔡佩宜, 田畑智博 (神戸大学)
- P-46 相互依存性解析を通じたマルチプルリスク管理戦略の考察: グリーン家電普及施策および用途地域制下での店舗の立地規制を対象として
○小島直也, 町村尚, Xue Mianqiang, 戎谷舞子, Zhou Liang, 東海明宏 (大阪大学)
- P-47 Dynamic flow and stock estimation and induced risk assessment of chemicals in a hierarchical structure
○Xue Mianqiang, 小島直也, Zhou Liang, 町村尚, 東海明宏 (大阪大学)

企画シンポジウム

【1 日目】

シンポジウム-1 9月8日(木) A会場(3号館2階) 9:30～12:00

「ポストFIT時代の再生可能エネルギーを活かす地域づくり～政策科学の貢献」

プロジェクト名：私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「エネルギー戦略シフトによる地域再生—原子力依存度の漸減と地域自然エネルギーの振興」

オーガナイザー 白井信雄(法政大学)教授

杉山範子(名古屋大学)特任准教授

挨拶：白井信雄(法政大学)教授

趣旨説明：2012年7月に導入されたFIT(固定価格買取制度)により、再生可能エネルギーの立地が活発化した一方で、地域主導性に欠ける弊害が懸念され、条例等により公民協働の仕組みを整備する先進地域も現れてきた。また、買取価格の低減等が進められている一方、2016年4月の電力小売自由化の導入により、再生可能エネルギーによる地域電力を整備する動きも見られるなど、再生可能エネルギーに係る地域の取組は新たな局面を迎えている。

こうした状況を踏まえ、本セッションでは、再生可能エネルギーの導入の新たな動きに関する研究成果を共有するとともに、それらの動きを通じて目指すべき地域社会の構造的再生の目標、それを実現していくためのシナリオや社会技術の可能性を論じる。さらに、長期的な視点からの地域社会の構造的再生を目標とした時、政策研究はどのように貢献していくべきかを論じる。

講演者：①「再生可能エネルギーによる地域社会の構造的再生と住民意識」

白井信雄(法政大学)教授

②「エネルギー地産地消を通じた地域創生の試み」

杉山範子(名古屋大学)特任准教授

③「地域自治体による電力事業の可能性」

北風 亮(自然エネルギー財団)上級研究員

④「土地改良区における小水力発電等の再生可能エネルギー導入の現状」

増原直樹(総合地球環境学研究所)プロジェクト研究員

⑤「太陽熱温水器がもたらす環境価値の評価～福岡県飯塚市のケーススタディ」

坂田裕輔(近畿大学)教授

⑥「再生可能エネルギーが地域にもたらす経済効果—産業連鎖分析を適用したケーススタディの紹介」

ウパッハ・スミヤ ヨーク(立命館大学)教授

小川祐貴(京都大学)博士後期課程

総合討論

司 会：杉山範子(名古屋大学)特任准教授

シンポジウム-2 9月8日(木) B会場(3号館2階) 9:30～12:00

「地域の資本ストックの将来を展望する—2040年の未来シミュレーター結果から—」

プロジェクト名：JST/RISTEX「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域

「多世代参加型ストックマネジメント手法の普及を通じた地方自治体での持続可能性の確保」

オーガナイザー 倉阪秀史(千葉大学)教授

松橋啓介(国立環境研究所)室長

挨拶：倉阪秀史(千葉大学)教授

趣旨説明：JST/RISTEX「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域の研究プロジェクト「多世代参加型ストックマネジメント手法の普及を通じた地方自治体での持続可能性の確保」(研究代表者：倉阪秀史)の2年間の研究内容を踏まえ、地域における資本ストックの将来を展望する「未来シミュレーター」の開発状況、リソースジェネレータ調査による地域の社会関係資本の把握、これらを中高生に伝えて未来市長として政策提言を考えてもらう「未来ワークショップ」の試みについて報告

し、討議する。具体的には以下の報告を予定している。

講演者：①「研究プロジェクトの趣旨と未来シミュレーターの開発状況について」

倉阪秀史（千葉大学）教授

②「未来シミュレーターにもとづく未来カルテの発行状況について」

前川智美（千葉大学）技術補佐員

③「八千代市の小地域における居住世帯と建物ストックの将来像」

松橋啓介（国立環境研究所）室長

④「八千代市におけるリソースジェネレータ調査結果について」

栗島英明（芝浦工業大学）教授

⑤「やちよ未来ワークショップでの中高生熟議の状況について」

宮崎文彦（千葉大学）特任研究員

⑥「やちよ未来ワークショップの参加者アンケート結果から」

森 朋子（東京大学）博士課程

総合討論

シンポジウム-3 9月8日（木）A会場（3号館2階）14：00～16：30

「地方自治体における気候変動適応技術の社会実装化の促進・阻害要因」

プロジェクト名：文部科学省「気候変動適応技術社会実装プログラム」

オーガナイザー 馬場健司（東京都市大学）教授

青木えり（東京大学）特任研究員

挨拶：馬場健司（東京都市大学）教授

趣旨説明：2015年11月に政府の「気候変動の影響への適応計画」が閣議決定され、また相前後して国土交通省や農林水産省も気候変動の適応計画を取りまとめるなど、これまでの温室効果ガスの排出削減対策（緩和策）に加えて、地球温暖化の悪影響に備える対策（適応策）が各自治体で求められている。本シンポジウムでは、気候モデルやダウンスケーリング、気候変動影響評価などの科学的知見を、地方自治体の適応策立案に社会実装させる際の促進・阻害要因について、自然科学、人文・社会科学の多様なアプローチから議論する。

講演者：①「気候変動適応のための数値シミュレーション」

石川洋一（海洋研究開発機構）グループリーダー

②「気候変動適応技術に対する地方自治体のニーズと適応策の策定状況」

馬場健司（東京都市大学）教授

③「防災分野における被災地域住民の認知と適応策行動」

青木えり（東京大学）特任研究員

④「気候変動下の水災害適応ソフト対策の研究」

小松利光（九州大学）名誉教授

⑤「農業分野における気候変動適応策に対する態度・関与度と熟議の効果」

小杉素子（静岡大学）特任准教授

⑥「農業分野の気候変動影響と適応技術の導入」

石郷岡康史（農研機構農業環境変動研究センター）上席研究員

⑦「テキストマイニングによるオンライン熟議の内容の把握の試み」

岩見麻子（愛知工業大学）ポスドク研究員

⑧「自治体レベルにおける気候変動の影響評価および適応策の検討を支援するためのアプリケーションの開発」

岡 和孝（みずほ情報総研）チーフコンサルタント

総合討論（コメンテーター：栗栖聖（東京大学）准教授）

司 会：青木えり（東京大学）特任研究員

シンポジウム-4 9月8日(木) B会場(3号館2階) 14:00～16:15

「地域主導による環境配慮型まちづくりに関する研究と実践」

プロジェクト名: 川崎市環境技術産学公民連携公募型共同研究事業

「地域活性化と環境共生を両立する低炭素コミュニティの実現手法に関する研究」

オーガナイザー 大西暁生(東京都市大学環境学部) 准教授

森田紘圭(大日本コンサルタント株式会社)

挨拶: 大西暁生(東京都市大学)

趣旨説明: これまでスマートシティ事業は日本各地で進められてきたが、大規模な設備投資を伴う事業が多く、その波及には限りがあると考えられる。今後、より一般的な既成市街地の低炭素化を進めるためには、生活利便性の向上、地域商業の活性化、防災性など様々な課題と低炭素化とを有機的に結び付け、解決していく手段や方法を考える必要がある。そして、多種多様化する地域それぞれにおいて独自に課題を克服できる力が養われる仕組みが必要である。本シンポジウムでは、こうした地域における研究や、環境配慮を目的としたまちづくりの実践紹介をもとに、今後検討すべき課題などについて議論していきたい。

講演者: ①「川崎市登戸における低炭素コミュニティ実現のための取組み」

大西暁生(東京都市大学) 准教授

②「川崎市登戸における商店街エコポイント実証事業の試行とその効果」

海老原学(大日本コンサルタント株式会社)

③「川崎市登戸における建築物マテリアルストック量の時系列的変化」

下出萌花(東京都市大学) 学生

④「個人属性を考慮した環境質に対する住民価値観の分析—川崎市・横浜市をモデルとして」

高平洋祐(株式会社日本経済研究所) 副主任研究員

⑤「名古屋市錦二丁目地区における地域主導型低炭素まちづくりの展開」

森田紘圭(大日本コンサルタント株式会社)

⑥「汎用離散系シミュレータを用いた駐車場の混雑対策」

藤本雅大(パシフィックコンサルタンツ株式会社)

⑦「フィリピンにおける災害に強く低炭素なまちづくりに向けた取組み」

遠藤 功(公益財団法人地球環境戦略研究機関) 主任研究員

総合討論

司 会: 大西暁生(東京都市大学)、森田紘圭(大日本コンサルタント株式会社)

【2日目】

シンポジウム-5 9月9日(金) A会場(3号館2階) 9:30～12:00

「ローカルレベルにおける水・エネルギー・食料ネクサスのマネジメント: 大分県別府湾におけるケーススタディ」

プロジェクト名: 総合地球環境学研究所(地球研) 実践プロジェクト

「アジア環太平洋地域の人間環境安全保障—水・エネルギー・食料連環」

オーガナイザー 増原直樹(地球研) プロジェクト研究員

馬場健司(東京都市大学) 教授

挨拶: 谷口真人(地球研) 副所長・教授

趣旨説明: 本プロジェクトの目的は、水とエネルギーおよび食料のネクサス(連環)による複合的な地球環境問題(持続可能な開発)に対し、環境ガバナンスの構造と水・エネルギー・食料政策の最適化を通して、持続可能な社会のあり方を提示することである。本シンポジウム企画では、大分県別府湾(別府市・日出町)を事例として、科学と社会との共創(環境ガバナンス)を踏まえ、水とエネルギーネクサスの解明、水と食料(水産資源)ネクサスの解明を通して、ステークホルダーとの合意形成及び統合指標とネクサス解析の各サブグループから、最新の研究成果を報告し、各資源とその統合的なマネジメントのあり方について議論を行う。

講演者: ①「科学と社会の共創のための科学的エビデンス共有化に向けた取り組み」

馬場健司（東京都市大）教授，白井浩介（三菱総合研究所），
増原直樹（地球研）

②「別府湾奥部における統合型水循環解析モデルの構築」

石井 明（八千代エンジニアリング（株））主任，
竹内博輝（八千代エンジニアリング（株）），
遠藤愛子（地球研）准教授

③「大分県別府温泉における繰り返し精密重力測定を用いた温泉帯水層モニタリング」

西島 潤（九州大学）准教授，成富絢斗（九州大），
大沢信二（京都大）

④「別府湾沿岸域における海底地下水湧出の空間分布調査」

本田尚美（地球研）プロジェクト研究推進支援員，
大沢信二，三島壮智（京都大），杉本 亮（福井県立大），
小路 淳（広島大），谷口真人（地球研）

⑤「別府における温泉資源の開発と分配」

王 智弘（地球研）プロジェクト研究員

⑥「大分県別府市の温泉資源ステークホルダーの共通認識に着目した社会ネットワークの可視化」

木村道徳（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）主任研究員

⑦「地域社会と温泉発電の共存共栄に向けたガバナンスの課題」

増原直樹（地球研）プロジェクト研究員

コメント（予定）

総合討論

司 会：増原直樹（前半），馬場健司（後半）

シンポジウム-6 9月9日（金）B会場（3号館2階）9：30～12：00

「室内環境中の難燃剤に対するリスク評価とその課題」

プロジェクト名：厚生労働科学研究費補助金（H26-化学一般-005）

「室内環境中の未規制物質の網羅的解析に関する研究」

オーガナイザー 雨谷敬史（静岡県立大学）准教授
三宅祐一（静岡県立大学）助教

挨拶：雨谷敬史（静岡県立大学）准教授

趣旨説明：1990年代に社会問題化したシックハウス・シックスクール問題は、建築基準法によるホルムアルデヒドなどの使用制限，13種の化学物質の室内環境指針値の策定により改善されたが，未規制物質の問題が残っている。特に，電気電子製品やカーテンなどの身近な製品に使用されている難燃剤は，難分解性でかつ蓄積性が高い物質が多く，その一部はヒトへの有害性が指摘されている。また，規制に伴い，次々と新たな難燃剤が開発・使用されており，それらがどのような有害性を示し，どのように曝露されているのかを，本シンポジウムを通して考えてみたい。

講演者：①「室内環境中の未規制物質の網羅的解析・管理への展開」

雨谷敬史（静岡県立大学）准教授

②「室内で使われる化学物質のリスクスクリーニング手法と難燃剤の評価」

小林 剛（横浜国立大学）准教授

③「防災カーテンに含まれる難燃剤の放散量とダストへの移行量測定」

小郷沙矢香（静岡県環境衛生科学研究所）主任
久米一成（東京都市大学）客員教授

④「ハウスダスト中のリン系・臭素系難燃剤の汚染実態調査と曝露・リスク評価」

三宅祐一（静岡県立大学）助教
徳村雅弘（静岡県立大学）特任助教

⑤「新規臭素系難燃剤の毒性影響について」

小川久美子（国立医薬品食品衛生研究所）部長

高須伸二（国立医薬品食品衛生研究所）主任研究官

総合討論

司 会：雨谷敬史（静岡県立大学）准教授

シンポジウム-7 9月9日（金）A会場（3号館2階）13：30～15：30

2015年優秀研究企画賞受賞記念シンポジウム

「モンゴル国の都市化とモータリゼーションによる都市廃棄物問題の顕在化」

オーガナイザー 戸敷浩介（宮崎大学）准教授

内藤博敬（静岡県立大学）助教

挨拶：戸敷浩介（宮崎大学）准教授

趣旨説明：モンゴル国では、1990年代初頭の民主化・市場経済化への移行後の経済成長に伴い、特に首都ウランバートル市において、急激な都市化とモータリゼーションが進んでいる。そして近年では、多くの開発途上国と同様に、都市廃棄物が増加・多様化し、その処理・処分・リサイクルに関連する問題が顕在化している。その中には、モンゴル国の生活様式や文化にも密接に関わる特有の問題も起こっている。本シンポジウムでは、家庭系廃棄物に関する課題と、自動車リサイクルに関する課題を事例として、モンゴル国における都市環境問題の特徴と課題を議論する。

講演者：①「ウランバートル市の家庭系廃棄物処理の現状と問題」

関戸知雄（宮崎大学）准教授、

Enkh Uchral Batkhuyag（宮崎大学）博士前期課程、

Enkhdul Tuuguu（モンゴル国立大学）准教授

②「ウランバートル市周辺の鉛バッテリーリサイクルと鉛汚染の現状」

戸敷浩介（宮崎大学）准教授、

内藤博敬（静岡県立大学）助教

③「ウランバートル市周辺の遊牧家畜に対する鉛汚染」

内藤博敬（静岡県立大学）助教、

戸敷浩介（宮崎大学）准教授

④「中古車輸出が国際資源循環と越境環境問題に与える影響—モンゴル国を事例に—」

Baatar Erdenedalai（東北大学）博士後期課程、

劉庭秀（東北大学）教授

⑤「モンゴル国における都市環境問題の特徴と課題—環境汚染防止と資源リサイクルのジレンマ—」

劉庭秀（東北大学）教授、

Baatar Erdenedalai（東北大学）博士後期課程

総合討論

司 会：戸敷浩介（宮崎大学）准教授

シンポジウム-8 9月9日（金）B会場（3号館2階）13：30～15：45

2016年学術賞受賞記念シンポジウム

「都市における熱環境の解析と改善策」

オーガナイザー

一ノ瀬俊明（国立研究開発法人国立環境研究所）

平野勇二郎（国立研究開発法人国立環境研究所）

吉田友紀子（大阪大学環境・エネルギー管理部）

挨拶：一ノ瀬俊明（国立研究開発法人国立環境研究所）

趣旨説明：各種測器やリモートセンシングによるモニタリング、数値シミュレーションによる検証と予測、GISによる解析など、1990年代以降環境科学会の周辺でも、都市熱環境に関する研究が行われてきた。自然地理学・気象学などの理学分野において古くから現象解明が進められてきた一方、土木工学・建築学などの工学分野においては熱環境改善に資する技術開発研究が進められ、その対象とする空間スケールも都市圏、都市、街区、建物、素材と多様である。また今日、その対象地域はアジアの具

体都市に広がっている。本シンポジウムでは従前の研究史を振り返るとともに、環境科学会としてこれからどのように取り組んでいくべきかについての議論を予定している。

講演者：①「都市熱環境に関する様々なスケールの解析事例」

平野勇二郎（国立研究開発法人国立環境研究所）

②「人工排熱抑制のためのオフィス省エネ対策と街区計画」

吉田友紀子（大阪大学環境・エネルギー管理部）

③「市街地の拡大が温度に与える影響—GIS とリモートセンシングを活用して—」

白木洋平（立正大学地球環境科学部）

④「都市熱環境解析における環境情報技術の活用」

大西暁生（東京都市大学環境学部）

⑤「都市熱環境モニタリングから都市環境政策へ」

一ノ瀬俊明（国立研究開発法人国立環境研究所）

総合討論

司会：一ノ瀬俊明（国立研究開発法人国立環境研究所）